

1 日 時 平成28年11月18日（金）第6校時：武道場

2 題 材 柔道

3 題材について

(1) 柔道は、素手で相手と直接組み合っ、相手の力や動きを利用しながら投げたり抑え込んだりすることで、楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。また、練習で自分の技を工夫し、効果的なものにするために努力することで充実感を味わえたり、試合で技が決まったときに爽快感や喜びを味わえたりすることができる。

さらに柔道は、基本動作や対人的技能の習得に向け、自己の能力に適した課題の解決に取り組んだり、勝敗を競い合ったりすることで、礼儀作法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康や安全に配慮する態度を育成することができる運動である。

(2) 本学級の生徒15人は運動が好きな生徒が多く、バレーボールや器械運動の学習には意欲的に取り組むことができた。柔道に関するアンケートでは、「柔道が楽しい」と答えた生徒は6人、「普通」と答えた生徒が7人、「楽しくない」と答えた生徒は1人だった。楽しくない理由は、「柔道は怖いイメージがある」からであった。15人全員が柔道の経験がない初心者なので、基本動作や受け身をしっかりと身に付けさせる必要がある。体育の授業における言語活動を充実させるために、グループ学習やペア学習で話し合いや教え合う活動を増やしているが、積極的な活動にはまだなっていない。

(3) 第1学年における柔道の指導では、基本動作や受け身の習得に重点を置き、受け身や技ができる楽しさや喜びを味わせたいと考える。特に、受け身の指導を徹底して投げられることへの不安を少なくして、一部の生徒がもっている「柔道は怖い」というイメージを取り除きたいと思う。

受け身や技の大切なポイントをつかませるために、コンピュータを利用して映像を見せたり、一人一人の受け身の動きをタブレットパソコンで撮影し、その映像を見せて互いのよい動きを認め合ったりすることで、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実させたい。また、自分の動きを自分で見ることは、自己の技術的な課題を明確につかむことができ、意欲的な学習につながると思われる。

4 学習指導目標

- (1) 相手を尊重し、礼儀正しい態度で友だちと協力して、自他の安全に留意しながら練習に取り組むことができる。 (関心・意欲・態度)
- (2) 自分や友だちの課題を把握し、その解決に向けて的確なアドバイスをしたり練習を工夫したりできる。 (思考・判断)
- (3) 基本動作や受け身を身に付け、基本となる技を用いて投げたり抑えたりするなどの攻防ができる。 (技能)
- (4) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称やルールを理解することができる。 (知識・理解)

5 学習指導計画（11時間）

1	2	3	4 本時	5	6	7	8	9	10
オリテーション	受け身 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前回り受け身			受 け 身					評価
				基本動作	・姿勢と組み方・進退動作 ・くずし・体さばき			固め技 立ち技	

6 本時の学習指導

- (1) 目 標 ・前回り受け身を習得するために、安全に留意して積極的に学習することができる。
- (2) 準備物 評価カード、ステップアップ、受け身の動画（コンピュータ）、タブレットパソコン
- (3) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	教師の支援、配慮事項 (◎は特別支援教育の視点に重点を置いた配慮事項) (●はBに至らない生徒への手立て 評は評価)
<p>1 集合、整列、挨拶を行う。</p> <p>2 準備運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ体操 ・1人の補助運動 ・2人の補助運動 <p>3 本時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道着をきちんと着ているか、帯が正しくしめられているかを確認する。 ・大きな声で挨拶をするよう指示する。 ・体の各部位をしっかり伸ばすよう指示する。 ・準備運動として補助運動を行い、体をよくほぐすようにする。 <p>◎ 前回り受け身の動画を見せて、本時の学習内容を明確にする。 (視点③)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">積極的に練習して、前回り受け身を習得しよう。</div>	
<p>4 受け身の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前回り受け身 <p>5 前回り受け身のできばえを評価する。</p> <p>6 本時のまとめと反省をする。</p> <p>7 整理運動を行う。</p> <p>8 集合、挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回り受け身を習得するために、一人一人の動きをタブレットパソコンを使って撮影し、自己の課題をみつけることを確認する。 ・受け身をするときには、後頭部を打たないようにあごを引き、手で畳をしっかり打つよう指示する。 ・横受け身や前回り受け身では、たおれ込むときに足を交差しないように少し足を開くよう指示する。 <p>◎ グループごとに、前回り受け身の様子をタブレットパソコンで撮影するよう指示する。 (視点⑥)</p> <p>◎ 撮影した動画を互いに評価させ、良い動きを認めたり各自の課題を見付けたりさせる。 (視点⑦)</p> <p>評 積極的に練習を行い、前回り受け身を習得しようとしているか。</p> <p>● 正しい動きができていない生徒や、消極的な活動になっている生徒には、イメージをつかませるために動画を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価カードを活用して、グループで受け身のできばえを評価するよう指示する。 ・評価カードの観点に気を付けさせ、評価のポイントを間違えないよう注意する。 <p>◎ 上達したことを発表させ、本時での伸びを認め、次時の活動意欲につながるようにする。 (視点⑧)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体をほぐし、疲れを取る。 ・大きな声で挨拶をするよう指示する。

○評価基準 <意欲・技能>

A	B
前回り受け身の正しい動きを理解し、積極的に練習して、正しい受け身を身に付けることができる。	前回り受け身の正しい動きを理解し、練習することができる。

